



レポート番号：#224



SUSTAINABLE

Sustainable

V2G：双方向のEVエネルギーマネジメント技術

消費者の間でのEV人気の高まりを受け、OEMはEVの中核機能を強化または拡張するために、先進的なシステムや機能を最新モデルに組み込むようになっています。こうした取り組みはインフォテインメントシステムにおいてすでに見られますが、双方向充電によって、急速に勢いを増し、新しいトレンドになりつつあるハードウェアに焦点を当てた新たなユースケースが生まれています。

双方向充電により、EVバッテリーから外部への配電が可能となり、大型電化製品、他のEV、家庭、建物、電力会社を通じたグリッドへの供給、さらに一般的に幅広いエネルギー供給者への対応が実現します。双方向充電がより広く利用できるようになるのに伴い、技術、統合、業界を超えたパートナーシップの新たなエコシステムが生まれ、EV体験全体が強化・向上すると見られます。

本書では、車両の有効化や家庭用エネルギー管理システム（HEMs）との統合などを含む、双方向充電についての様々な機会と課題について考察します。また、バーチャルパワープラントの実現をサポートし、自動車メーカー、エネルギー管理プロバイダー、主要インフラプレーヤー間の新たなパートナーシップを促進する上で双方向充電が果たす役割について解説します。さらにEV双方向充電のパイロットプログラムや最新の商業的な発表などについて深掘りし、双方向充電の可能性について検証します。

目次

- はじめに
- 概観：SBDがさまざまな電気自動車に実施した調査の主な結果と関連レポートの概要
- 要旨：レポートの要点と結論のまとめ
- 基本情報：V2X分野の最新ニュース
- 分析結果：調査で判明した主な動向の分析結果、V2Gのユースケースおよび技術の詳細
- サマリー表：各OEMの対応状況と市場における位置付けの概要
- エコシステム：エコシステムの動向、電力会社、ソフトウェア開発者、CPO、EVSEメーカーの主なファシリテーターのプロファイル。主な標準規格と法規制のレビュー
- 将来の展望：4つのOEMタイプについて、将来の推進要因と障壁を考察し、V2Gのメリットが実現する時期を理解する。
- 次のステップ

関連レポート

EV充電及びインフラガイド

レポート番号：217

自動車メーカーが次々とICE車からEVへの転換を進め、政府がEV購入に様々なインセンティブを導入した結果、EVの普及率と販売台数は急速な伸びを見せています。一般消費者、フリート運営者、サービス事業者のEVへの乗り換えが進みつつある中、再び関心を集めているのがEV充電ネットワークの構築です。本書では、欧州および米国におけるEV充電インフラの現状を分析し、普及状況の変化をトラッキングして成長を明らかにします。

対象市場

- 欧州
- 米国
- 中国
- 日本
- グローバル
- その他

レポート発行頻度

- 毎年更新
- 半年更新
- 四半期更新
- 毎月更新
- ワンタイム

レポート形態

- PDF
- PowerPoint
- Excel
- Online

ページ数

155

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > V2GとHEMS分野におけるOEMの市場投入の現状と今後の展開とは？
- > V2X機能を設計する際に考慮すべき技術的課題とは？
- > 各市場においてどのような双方向充電規格が登場しており、考慮する必要があるものはどれか？
- > IEEE2030.5、ISO15118、その他のプロトコルはV2XやHEMSとどう連携するのか？将来はどうなるのか？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへ新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼 「V2G：双方向のEVエネルギー管理技術」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

